

2015.4.28

fun pun clock with color! / designed by Yoko Dobashi

色の効果で、自分の時間をつくるのがうまくなるアナログ時計。

各位様

いつもお世話になっております。
タカタレムノス広報の坂本です。

この度、株式会社タカタレムノスは土橋陽子氏デザインによる掛時計「fun pun clock with color!」を2015年5月11日より発売を開始いたします。

「fun pun clock with color!」は、「色の効果で、自分の時間をつくるのがうまくなるアナログ時計」をコンセプトにアナログ時計の持つ「円グラフ」の特徴を活かしながら、色を効果的に使い、1時間をおおらかに4分割して捉えることで、子ども自身でスケジュールを管理できるように導いてあげることが意図とした時計になります。

子育て経験のある女性デザイナーの「母親の視点」と、日本モンテッソーリ教育総合研究所の主任研究員 櫻井美砂様の「専門家の意見」を取り入れ、そして、インテリアペイントのメーカー・株式会社カラーワークス協力のもと商品開発に取り組みました。

是非ご注目いただけますようご案内申し上げます。
よろしくお願いたします。



子ども自身でスケジュールを管理できるように導いてあげることが大切です。

「8時になったら、学校へ行く」「15分で支度を終える」「30分、練習する」など、生活の中で時刻や時間を意識することは、自分の行動を自分自身でコントロールする姿勢を育みます。とはいえ、時は流れるもの。

「〇時〇分」という、その瞬間を示す時刻は読めるようになっても、生活体験の少ない子どもにとって、目に見えない時間という量を把握することはなかなか難しいものです。

「もう15分しかないから急いでしたくしなさい!」「30分で宿題を終えなさい!」というかわりに、「15分、この一つ分で支度を終わりにしようね」「今日は、時計の半分、30分練習しよう」など、色によって可視化された時間を基準に量感を育み、時間の概念の理解へとつなげながら、少しずつ子ども自身でスケジュールを管理できるように導いてあげることが大切です。

アナログ時計は、分数の理解にもつながります。「1/4時間は何分?」という問題も、時計を思い浮かべれば計算するまでもなく「15分!」とイメージすることができますね。

さらに、「15分は90度」など、角度の理解に発展することもできます。生活に密着した学びは、生きた知識として子どもの身につけていきます。

公益財団法人 才能開発教育研究財団 日本モンテッソーリ教育総合研究所
主任研究員 櫻井美砂

Lemnos は、1966 年服部時計店工場精工舎（現セイコークロック株式会社）との取引を開始し、本格的な時計事業を開始しました。自社ブランドとして開発した GANBARA「HOLA」（デザイン：川崎和男）が1989年にグッドデザイン賞やニューヨーククーパー・ヒューイットミュージアムの永久展示品に選定され、デザインクロックブランドとして大きな一歩をスタートさせました。

fun pun clock with color ! / designed by Yoko Dobashi

色の効果で、自分の時間をつくるのがうまくなるアナログ時計。



〈大きな3つの特徴をもった時計〉

1. 時間を自分らしく使いたい人をサポートするアナログ時計

「約束の時間に終わらせるために、何時までにどこまでやるか」「今日1日をどう過ごすか」「複数のやるべきこと、やりたいことをどう組み立てるか」を考えることは、種類の違いこそあれ、子どもから大人まで共通の時間の使い方に対する悩みです。

「1時間でどこまでやるか」と考えると、ぼんやりとして甘くなりがちな目標設定も、「15分×4コマ」で考えると、できることが明確になります。

「15分」は、どんなに忙しい人でも何とか確保できる時間。意識しないとあっという間に過ぎてしまいますが、実は様々なことができます。例えば、次の約束までの15分を積極的にリラックスタイムにすることが、もうひと頑張りするための有効な手段になります。

また、遅刻癖のある人は、あらかじめ1コマ分の余裕をもつことで、5分か10分前には到着できる習慣づけになるでしょう。アナログ時計のもつ「円グラフ」の特徴を活かし、1時間をおおらかに4分割して捉えることで、時間に追われる生活から抜け出してみませんか？



2. インテリア空間に映える、シックなカラーリングの時計

通常の商品開発で用いられるカラーチップではなく、インテリアペイントのメーカー・株式会社カラーワークス協力のもと、12種類の顔料をブレンドして作った同社の繊細な色合い1488色の中から選びぬいた4つの配色。シックなインテリアにもカジュアルで遊び心のあるインテリアにも馴染みます。

インテリアコーディネーターの資格をもち、様々な現場で自らペイントを施した経験のあるデザイナーの視点から見た、生活空間における〈壁を飾るインテリアアイテムとしての時計〉にふさわしい美しい色合いや質感を慎重に選びました。



3. 母親の視点と、モンテッソーリ教育理論を土台としたデザインの時計

自分の部屋を初めて与えられる思春期の頃は特に、「やらないといけないと思っていることを、人から『やりなさい』と言われる」ことが何よりも苦痛です。それでも思うように時間の区切りをつける事ができず、時間に迫られて焦る気持ちから、次第に時計を読む事が億劫に感じられる負のスパイラルがあります。

そんな時期に、お気に入りの色で好きな部屋を作るきっかけになるような時計が、実は時間を区切る段取りが上手になるサポートにもなっていたら助かりますよね。

そんな思いを込めて、子育て経験のある女性デザイナーの「母親の視点」と、日本モンテッソーリ教育総合研究所の主任研究員・櫻井美砂様の「専門家の意見」を取り入れて商品開発を進めました。

2015.4.28

fun pun clock with color ! / designed by Yoko Dobashi

色の効果で、自分の時間をつくるのがうまくなるアナログ時計。

〈デザインの有意性〉

1. スイープムーブメントと分数概念の採用

自分の部屋がある年代は「時計が60進法であること」は理解しているとした上で、モンテッソーリ的な観点から不要な要素は取払いました。そのひとつが秒針で1秒をきざむステップムーブメントではなく、流れる時を視覚的に表わすスイープムーブメントを採用しました。

また、1コマ=15分のなかにも、「ふんぶんくるっく」のアイデンティティーでもある「5ぶん(fun)」「10ぶん(pun)」の刻みを入れる事で、おおらかな時間の把握をサポートします。

2. お気に入りの色の効果

子ども部屋や自分の部屋で使う事をイメージして、より自分の「お気に入り」になる色味に配慮しました。重量感のある太めの枠をフレームのように見立てたカラーの時計は、「機能のあるグラフィック」としてインテリアの方向性を導いてくれます。

また、一つ一つの色に名前がついている事も、お気に入りのみつかるきっかけになります。

黄:Cortez Gold (7725A) × Cool Yellow (7703M)

赤:Crimson Barberry (7885A)

緑:Ozark Green(8155D) × Olive Branch (8163W)

青:Dutch Aqua (8044M)

* 株式会社カラーワークス オリジナルペイントブランド「Hip」より

3. 数の間隔は、「子どもの視点」、余白の取り方は「色彩心理の視点」

「10」「11」「12」の2桁の数字の表記は、子どもが見ても隣の数字同士混同しないように配慮しています。また、1コマ=15分の区切りとなる「0分」「15分」「30分」「45分」に白を残す事で、気持ちを一度切り替える、白(地の色)になる心の余裕を促しています。



サイズ: φ248×d44mm 重量: 660g 素材: ABS樹脂、ガラス 仕様: スイープセコンド 価格: ¥5,000+税

fun pun clock with color ! / designed by Yoko Dobashi

色の効果で、自分の時間をつくるのがうまくなるアナログ時計。

Designer Profile



土橋 陽子 / Yoko Dobashi

株式会社イデーに5年間('97~'02)所属し、定番家具の開発や、「東京デザイナーズブロック2001」の実行委員長、ロンドン・ミラノ・NYで発表されたブランド「SPUTNIK」の立ち上げに関わる。イデーの現行定番家具〈bian chair〉や、授乳時に赤ちゃんを起こさない提灯型led照明〈milk time light〉、1枚の展開図を「曲げて」「差し込んで」「折って」作る〈let's light〉、時計の読めない子が読みたくなるアナログ時計〈fun pun clock〉をデザイン。2012年より「Design life with kids!」インテリアワークショップ主宰。モンテッソーリ教育の視点を生かし、「手を動かしながら、インテリアを作り上げる」ことを心がけ、様々な企業とコラボレーションして、ワークショッププログラム開発に取り組む。また、インテリアライターとして、ウェブマガジン「All About」、「レッツエンジョイ東京」にて執筆中。現在は2児の母親として、子供のいる生活空間の探求、手を動かしながら生活を作ることが目下のテーマ。

<http://yokodobashi.com>

special thanks!

開発協力: 日本モンテッソーリ教育総合研究所 主任研究員 櫻井美砂

株式会社カラーワークス <http://colorworks.co.jp/>

写真撮影: 福崎幸治 <http://kojifukuzaki.tumblr.com>

カタログデザイン: 濱中幸子 (デザイン事務所 Vol.) <http://vol-web.com/>

文章校正: 中嶋由希子



Lemnos

Lemnos は、1966年服部時計店工場精工舎(現セイコークロック株式会社)との取引を開始し、本格的な時計事業を開始しました。自社ブランドとして開発したGANBARA「HOLA」(デザイン:川崎和男)が1989年にグッドデザイン賞やニューヨーククーパーヒューイットミュージアムの永久展示品に選定され、デザインクロックブランドとして大きな一歩をスタートさせました。その後も、渡辺力や安積伸、安積朋子、塚本カナエなど、国内外で活躍する著名なデザイナーとプロジェクトを組み、アート性、デザイン性に富んだ数々の名品を発表。グッドデザイン賞を多数獲得し、国内外で高い評価を得ています。

Lemnos のプロダクトは、職人の研ぎ澄まされた手の技によって、ひとつひとつ丁寧につくられています。

素材と対話し、その素材が持つ魅力を最大限に引き出す。その結果、流行に流されることのないデザインが生まれる。

Lemnos は、革新的で、かつ永続的な美しさを提案し続けます。

東京ショールーム・オフィス

〒112-0012 東京都文京区大塚3-7-14 シャンワール文京1F

10:00 - 18:00 定休日/土・日・祝日 www.lemnos.jp



■ 本件に関するお問い合わせ

株式会社タカタレムノス

営業企画部・広報担当: 菊地、坂本

m : press@lemnos.jp

t : 03-5981-8120 f : 03-5981-8365